

松浦川水系河川整備計画(案)の策定 に係るご意見について

平成20年3月

武雄河川事務所

1. 意見集約結果

1) 概要

平成18年4月24日に国土交通大臣により「松浦川水系河川整備基本方針」が策定され、これを受けて九州地方整備局では「松浦川水系河川整備計画」の策定に向け鋭意作業を実施しています。

策定にあたって、平成19年11月5日に「松浦川水系河川整備計画（原案）」を公表し、流域住民の方々のご意見を伺うために、住民意見交換会、はがき、意見箱、インターネットによる手法を用いて皆様方から数多くの貴重なご意見を伺いました。

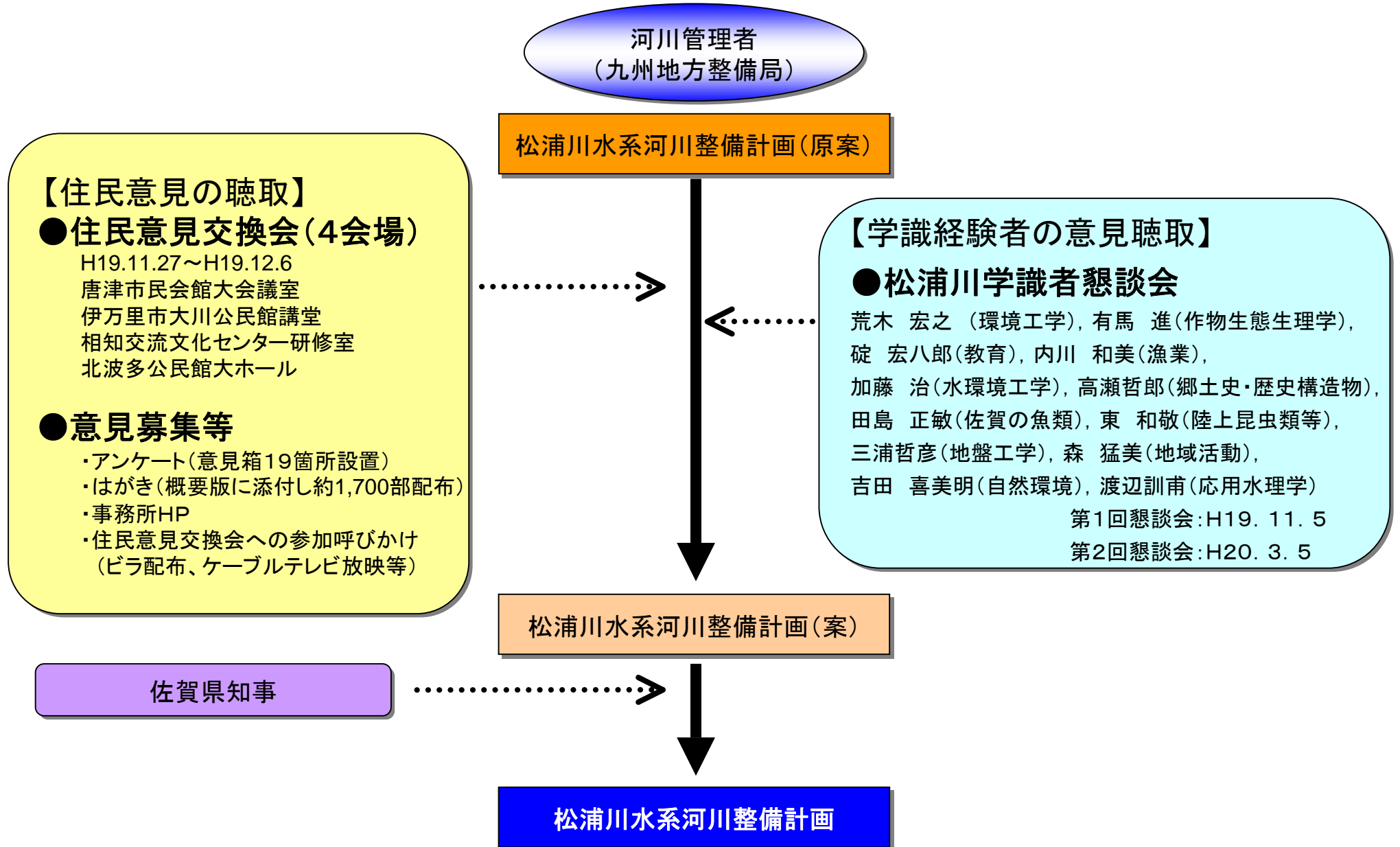
2) 意見総数

252件

住民意見交換会：76件

アンケート等：176件

2. 松浦川水系河川整備計画策定までのスケジュール



3. 住民意見交換会・住民アンケートによる意見集計結果

以下は住民意見交換会（76意見）及び住民アンケート（176意見）による意見をカテゴリー別に整理したものです。結果、47個の意見となりました。

カテゴリー	治水	利水	環境・利用	連携・協働	計
意見数	19	2	17	9	47

治水	<ul style="list-style-type: none"> ・全川的に安全安心の川づくりを求める声が多く、特に本川上流部や巖木川等の上流部において早急な治水整備を求める声があがっています。 ・また、樹木伐採、土砂撤去などの適切な維持管理を求められています。
利水	<ul style="list-style-type: none"> ・維持流量の確保、渇水時の農業用水の確保が求められています。
環境利用	<ul style="list-style-type: none"> ・環境面では、全川的に自然豊かな川づくりを求める声が多く、特に魚道整備や外来種対策を求める声があがっています。 ・利用面では、自然体験や環境学習の拠点整備を求める声が多く、特に土井地区や大黒井堰周辺の拠点整備を求める声があがっています。 ・また、川と親しむための整備として散策路、サイクリング道路の整備を求める声があがっています。
連携協働	<ul style="list-style-type: none"> ・流域全体を視野（水系一貫した整備）に入れた川づくりが求められており、また、そのためにも川に対して住民が関心を持つような取り組みを求める声が多くあがっています。特に、分かり易い情報の提供やイベントの開催など。

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
1	治水	<p>洪水のないまちづくりをお願いしたい。</p> <p>毎年のように水害等があり不安である。川幅の拡幅や整備等をちゃんとしてほしい。</p> <p>まだ河川整備が出来ていない箇所を早急に。</p> <p>堤防の整備を。</p> <p>災害対策を今後ともよくしていただき、子供達が楽しく遊べる川辺も作っていただきたい。</p> <p>全体的に大切な構想ばかりですが災害源の追求と実施保全を。</p> <p>河川の早期改修、地元要望などの迅速な対応をお願いします。</p> <p>河川はそのまま堤防を堤内地につくる。</p> <p>百人町の堤防工事をしてあるが、満潮の時の大雨時には水が越えている。地球の水面上昇が言われているときに、もっと高くして欲かった。</p> <p>災害が起こらない河川の整備を早急に。毎年苦しんでいる所を先にできないのか！役所での机上の論理ではだめ。</p> <p>偏った地域、決まった地域での整備が目立つ。もっと河口部の整備もしてほしい。</p> <p>河川には美観より治水利水を目的に整備するべきである。限られた予算ではそれが一番である。</p>	<p>水害のない安全・安心な河川整備を（未整備地区を早急に整備）。</p>	<p>松浦川において戦後最大の被害をもたらした昭和28年6月洪水を目標とした河川整備の実施には膨大な費用と年数を要することから、本計画では昭和28年6月洪水に次ぐ規模であり、かつ近年に発生した平成2年7月洪水に相当する洪水を目標とし、河道掘削、築堤及び堤防の嵩上げ・拡幅、橋梁の架け替え、堰の改築等を概ね30年間で実施することとします。しかし、すべての洪水を川の中で流すことは、莫大な費用、時間を要することから、まずは家屋を守ることを念頭に整備を進め、目標とする流量を安全（家屋浸水を防止する）に流下させることができない地域を優先に河道掘削等により洪水時の水位低下を図り、安全・安心の川づくりに努めます。洪水対策の具体的メニューについては、計画案「p92 3.4.1 洪水対策」、「p96 4.1.1洪水による災害の発生の防止又は軽減」および「p99 4.2.1 洪水対策に関する整備」に記載しています。</p>	<p>P 9 2</p> <p>P 9 6</p> <p>P 9 9</p>
2	治水	<p>城野川の河口からの流入を防ぎ、さらに、城野川の水が松浦川にスムーズに入っていきような城野川下流域の整備をして欲しい。</p> <p>上流地区がだんだん整備されると、水の流れは速くなり、水かさが城野川の水量よりも高くなってくると逆流という問題があります。城野川本川の上流右岸の約60メートルについて、かさ上げを検討いただきたい。</p> <p>城野川と本川との合流点の右側に、出っ張ったような小さい山があり、平成2年のときは、それに水が当たって、逆流の原因の一つにもなっていた。河川改修時に処理を考えていただきたい。</p> <p>松浦川の改修によって今後本川の洪水時の水位が高くなり支川の流入が困難になって逆流し、特に宿地区の輪中堤外の住宅の浸水（家屋）の発生が憂慮される。</p>	<p>本川上流大川野地区の浸水解消のため、城野川合流点の築堤整備を。</p>	<p>大川野地区の整備については、城野川合流点下流側から掘削を行い、城野川合流点付近の本川水位を下げ、城野川へ浸入する水を減らし、家屋浸水を防止します。そのため、築堤は実施していません。また、輪中堤の嵩上げを行うことで輪中堤内の家屋浸水被害を無くします。具体的には、計画案「p99-103 4.2.1 洪水対策に関する整備」に記載しています。</p>	<p>P 9 9 -</p> <p>P 1 0 3</p>

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
3	治水	川西橋下流に水門が出来ると聞いていたがどのようになるのか。現在、築堤が切れており平成2年の水害のときは浸水被害が生じたので、是非検討していただきたい。 桃川上流の右岸側に堤防が出来ていないところがあるが、洪水対策はどのように考えているのか。	本川上流川西地区右岸、桃川地区右岸の堤防整備を。	本川上流の川西地区右岸、桃川地区右岸についても、河道掘削を主体とした整備により、川幅を拡幅し、洪水時の水位を低下させ、家屋浸水を防止することとしています。そのため、築堤は実施しないこととしています。 具体的には、計画案「p99-103 4.2.1 洪水対策に関する整備」に記載しています。	P99- P103
4	治水	松葉橋の撤去について、どのような形で撤去されるのか具体的に教えて欲しい。生活道路となっており撤去しないで欲しい。 松葉橋（もぐり橋）は、川になじんで遊ぶこともでき、また、大物のイダという魚の捕り場にもなっている。どういう改修をするのか。 松葉橋の撤去の問題ですが、地域の住民と話し合いの上整備してもらいたい。	本川上流川西地区の河道掘削にあたり、松葉橋を残せないか。	治水上支障があることから河道掘削に伴い撤去することとします。ただし、日常生活に支障をきたす場合や親水が困難になるなどの問題に対しては、地域との合意形成を図りながら整備を実施するよう考えております。このことから、計画案「p99 4.2.1 洪水対策に関する整備」に既設構造物の撤去等にあたっては、従前の機能を踏まえつつ、地域住民との合意形成を図りながら整備を実施することを追加記載いたしました。	P99
5	治水	桃川橋や桃川新橋、JR鉄橋なども拡幅ということになるのか。川の拡幅工事によって川幅が広くなって、橋は現状のままだと、はき切れるだろうかという心配はしている。	本川上流桃川地区の河道掘削にあたり、上松浦鉄道橋及び桃川新橋の改築計画がないが、安全に洪水を流せるのか。	上松浦鉄道橋および桃の川新橋地点においては、河道掘削により河道内水位が低下し、流下能力が向上するため、家屋浸水を防止することが可能です。なお、両地点においても、整備計画目標流量の河道内流下が可能となることを確認しています。 具体的な上松浦鉄道橋及び桃の川新橋付近の河川整備については、付近の河川整備については、計画案「p99-103 4.2.1 洪水対策に関する整備」に記載しています。	P99- P103
6	治水	土井地区において、昨年の洪水及び今年の6月か7月の大雨の際に床下浸水が2軒あったため、旧川部の環境整備の際に堤防整備をしてもらえないか。 今の旧川部は河川としての機能を有していないのであれば、堤防整備し松浦川沿いの堤防をふさいでしまった方が、洪水のときに土砂が入り込まず良いのではないか。 平成18年9月には旧川部に水が流れ、徳須恵川筋からも流入して、床下浸水が発生した。環境整備については反対ではないが、必要な施設、堤防のかさ上げとか、安全・安心をキーワードとした整備、いわゆる河川としての役割も果たしていくような整備をお願いしたい。	徳須恵川合流付近土井地区の旧川部の治水整備をしてほしい。	地域の方々からの聞き取りと合わせて現地を確認し、家屋敷数など必要なデータを実測した結果、平成2年7月出水、平成18年9月出水においても、家屋浸水被害が発生しており、HWLより低い位置に家屋があることより、堤防高が不足する箇所からの浸水による家屋浸水の発生が懸念されることから、松浦川の旧河道部分に築堤を実施する旨追加記載しました。 具体的には、計画案「p99、101-102 4.2.1 洪水対策に関する整備」に記載しています。	P99 P101- P102

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
7	治水	石志地区の揚水場を設置されているところが、30メートルほどにわたって、堤防が昔の堤防のままに残されており、昨年 の洪水の際には越水寸前まで達し非常に危険な状態であったため、当該地区の整備をして欲しい。	徳須恵川石志地区の治水整備をしてほしい。	HWLより低い位置に家屋があり、堤防高が不足する箇所からの浸水による家屋浸水の発生が懸念されることから築堤を実施することとしています。具体的には、計画案「p99、104-105 4.2.1 洪水対策に関する整備」に記載しています。	P 9 9 P 1 0 4 - P 1 0 5
8	治水	徳須恵～行合野間の河道掘削を行って、水害のない川づくりをしてほしい。	徳須恵川徳須恵地区～行合野地区の河道掘削を行ってほしい。	HWLより低い位置に家屋があり、堤防高が不足する箇所からの浸水による家屋浸水の発生が懸念されることから築堤、河道掘削を実施することとしています。具体的には、計画案「p99、104-105 4.2.1 洪水対策に関する整備」に記載しています。	P 9 9 P 1 0 4 - P 1 0 5
9	治水	横枕堰上流右岸の堤防は低い。堰が改築され、解消されているようだが、右岸と左岸の堤防高が低いのはおかしい。 横枕井堰上流から田頭地区下流部の中間の堤防工事を早急 にやっていただきたい。 巖木川の河川改修、特に湯屋地区の改良早めに、田頭橋の架 け替えを早めをお願いします。 横枕地区の堤防はでき、今、田頭地区を工事しているよう だが、湯屋地区の工事はされるのか。できなければ理由は何 か。 横枕一岩屋間の道路が離合できないくらい狭い。土木事務所 と連携して対応して欲しい。 巖木川右岸湯屋地区の堤防（県道）が一部幅が狭いため大雨 の時決壊の不安があり安心して通行できない。田んぼ道も堤 防の決壊を想像するとこわくて通れない。不安を解消してほ しい。 湯屋下地区の県道は通学路にもなっていますが、車道・歩道 の区別がなく安心して歩けない。県道整備のためにも河川 の整備計画を立てて下さい。	巖木川湯屋地区の治水整備をしてほしい。	HWLより高い位置に家屋があり、堤防高が不足する箇所からの浸水による家屋浸水の発生が懸念されないことから築堤を実施しないこととしています。具体的な考え方については、計画案「p92 3.4.1 洪水対策」、「p96 4.1.1洪水による災害の発生防止又は軽減」に記載しています。 なお、隣接県道と連携した整備要望については、引き続き県・市と連携し対応します。	P 9 2 P 9 6

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
10	治水	9/16洪水では国道203号が冠水し一時不通となり、一時的に佐賀ー唐津の行き来ができなかった。これを解消するために中流域の河道掘削（田頭橋上流）や用地買収をしていただいているが、JR橋架け替え、道路橋の架け替え、岩屋橋までの河道拡幅を早くしていただきたい。	厳木川町切地区の治水整備を早急に。	厳木川の河川整備は、中上流部において河道断面が不足していることから、河道掘削、橋梁改築により、洪水時の河川水位を低下させ、一部築堤を実施することにより、家屋浸水を防止することとしています。 具体的には、「p99、106-107 4.2.1 洪水対策に関する整備」に記載しています。	P 9 9 P 1 0 6 - P 1 0 7
		国道203号本山小校区地域の治水対策を早急に改善して欲しい			
		厳木川の厳木町と相知町の部分の河川改修を早期にしてほしい。			
		現、相知町（田頭・長部田附近）まで、河川整備（改修）が進められているが、その上流の厳木附近まで早期改修に努力して下さい。（魚が住める工法で土手は河川を眺めて散策可能に…）			
11	治水	水流の勢い、方向は同じではないので川の蛇行、傾斜に応じた河川堤防をつくるべき。淤、堆積土砂のできかたに応じた対策が必要。	堤防、護岸を補強し、安全性を確保してほしい。	堤防は、度重なる洪水経験に基づいて、築造・補修が行われてきており、堤防や地盤の構造がさまざまな不確実性を有している部分もあることから、安全性の点検や必要に応じた堤防強化対策の実施の必要性について、計画案「p42 2.1.2堤防の安全性」に記載しています。また「p45 2.1.4河川の維持管理（2）河川管理施設の維持管理」において、護岸の老朽化や堤防天端のクラックなどの補修対策の必要性を記載しています。 このため、計画案では堤防の安全性の点検を行い、洪水時の浸透に対する検討など機能の維持や安全性の確保を図っていく旨記載しています。 具体的には、堤防の詳細な点検を実施し、堤防強化対策が必要な箇所については、順次対策を実施します。また、護岸の老朽化や堤防天端のクラックなども確認されていることから、災害を未然に防止または軽減するため、河川巡視や点検時における施設被害、機能不具合等の確認、計画的な補修、施設の更新・改築等を行い、各施設の機能の良好な状態に維持する等効率的、効果的な維持管理を行います。これらについて、計画案「p93 3.4.2堤防の安全性の確保、3.4.4維持管理」、「p96 4.1.1洪水による災害の発生の防止又は軽減」および「p108 4.2.1 洪水対策に関する整備」に記載しています。	P 4 2 P 4 5 P 9 3 P 9 6 P 1 0 8
		当地区はハザードマップに示されている様に最大危険地帯です。早急に松浦川右岸の城樋内～上久里橋に至る護岸の強化対策を要望します。			
		7/200右岸堤防は水衝部であり、ここが破堤しないか心配である。堤防の補強をしてほしい。			
12	治水	救急排水機場の設置を。（夕日川）に下双水地区に養護施設があります。大雨が降ると水没する事が想定される。	内水対策をして欲しい。	松浦川では、過去の洪水に鑑み4つの排水機場を建設し、また、排水ポンプ車等災害対策用機械の派遣や被災箇所の応急復旧等による洪水の拡大防止・軽減により、近年、内水による家屋浸水は発生していないと理解しており、計画案「p43 2.1.3 内水対策」に記載しています。 内水対策については、計画案「p93 3.4.3内水対策」、「p96 4.1.1洪水による災害の発生の防止又は軽減」および「p108 4.2.1 洪水対策に関する整備」において、過去の被害実績や浸水特性、土地利用状況等を踏まえつつ、今後の浸水実績に応じて、関係機関と連携して対応していく旨を記載しています。	P 4 3 P 9 3 P 9 6 P 1 0 8
		左岸の川西地区について内水の水が溜まり松浦川にはけけない。ポンプを据えるなどの災害の対策の計画はないのか。			

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
13	治水	治水のために整備をすると水辺の生物がいなくなる。相反する計画をどのようなバランスで整備を行っていくのか？。	工事に伴う濁水の防止など、工事実施時にも環境に配慮してほしい。	計画案では、整備メニューのほとんどが河道掘削等の河道内を改変する工事となるため、①河道掘削は平水以上で行う、②掘削法面は緩やかにし人工構造物を設置しない、③河畔林の伐採時期を調整する、④水害防備林としての機能に着目し必要に応じて再生する等、河川環境に配慮した整備を行うことを計画案「p96 4.1.1洪水による災害の発生防止又は軽減」、「p99-100 4.2.1洪水対策に関する整備」に記載しております。更に当該工事によって生物の生息及び繁殖等への影響が想定される場合は、生物への影響を極力小さくするよう努める旨を追加記載いたしました。	P 9 6 P 9 9 - P 1 0 0
		河川敷、堤防の除草をしていただいているが、自然が少しなくなっているように感じる。自然の河川状態も保全していただきたい。工事の際には配慮していただきたい。			
		工事に伴い、長期間川の状況が汚い。長期間汚れていて大丈夫か？			
		きじ、セッカ、オオヨシキリなどが利用している樹木や草地在り無造作に伐採されている。伐採場所や伐採時期を調整してほしい。			
14	治水	治水と環境をどのように両立されるのかがよくわかりませんでした。	治水と環境のバランスの取れた川づくりをしてほしい。	計画案では、大黒井堰や岩坂井堰など歴史的構造物を保全した整備を行うとともに、河道整備にあたっては、計画案「p99-100 4.2.洪水対策に関する整備」に記載していますように、現在の川底はさわらず、通常の水面上よりも上の部分を掘削して川幅を増やしたり、掘削した法面をなるべく緩やかな勾配にして人工的な構造物をつくらないようにします。また、河畔林の伐採が伴う箇所については、魚類・鳥類等の生息環境に配慮して、伐採時期の調整を行うなど必要な措置を講じていきます。なお、計画案「p89 3.1河川整備の基本理念」に「歴史と文化の継承安らぎと緑豊かな松浦川」の実現にあたっては、治水・利水・環境の3つの項目を基軸としつつ、相互のトレードオフの関係を総合的に調整した上で具体的な目標を設定した取り組みが必要があることから、その旨を記載しました。	P 8 9 P 9 9 - P 1 0 0
		松浦川につながる小さい溝みたいな川でも大きい水門があるが、何の役に立っているのかわからないし、何の意味があるのか、自然を壊すばかりなのでは。そういうお金があるなら、もっと川の掃除をしたらいいのでは。			

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
15	治水	<p>草ではなく樹木を植栽した様に木が多い。橋より高くなっている所もあり水の流れが悪い。早急に切ってほしい。</p> <p>河川内の樹木はどうにかありませんか。橋より高い木も多々あります。</p> <p>桃川橋から萩の尾堰の入り口辺まで、川の両岸に竹がものすごく繁殖している。洪水時にゴミが溜まることによる環境悪化や河積阻害が懸念されると思われるため、伐採した方がいいと思う。</p> <p>堤防整備等は出来ていますが、河川地の竹の繁茂のため猪が住みつき水田（水稻）をあらすようになりました。農業に危機感をもっています。竹の伐採をして下さいますようお願いいたします。</p> <p>川原橋と千石橋の間の河川敷に、柳の木が相当大きくなっており、流下阻害になっているのではないかと思われるため、伐採した方がいいのではないかと。</p> <p>合流点から約60メートルぐらい下に樹木が堤防から川岸まで繁茂しており流下阻害となっているのではないかと。</p> <p>河川の樹木が大きくなりビニール等のゴミが目立つ。</p> <p>河川内の樹林等の伐採を早急にお願ひしたい。意見交換会の翌日にはパトロールされておりました。お疲れ様です。</p> <p>堤防除草外の河川内の竹、ヨシの除去</p> <p>河川のヨシや雑木を切ってもらいたい。</p> <p>河川の中にある砂洲に繁茂している「ヨシ」「笹竹」の撤去が必要である。反面、水性生物の生息に必要な環境作りにも留意しなければならない。</p> <p>河川内の樹木の伐採が必要と思う。柳の木がかなり大きくなって水の流れを阻害している。</p> <p>松浦川の左岸～右岸～中央付近に雑草古木などが堆積しているが取り去ることがいいのか普通なのか返答をお願いします。</p>	<p>流下阻害となっている河川内の樹木や河岸沿いの竹林の伐採をしてほしい。</p>	<p>樹木の繁茂による河道断面の阻害については、現時点では大きな問題は生じておりませんが、河道内については、近年、樹林化してきた箇所も見うけられることから、河道内樹木の繁茂状況をモニタリングするとともに、計画的な伐採を行う旨を追加記載しました。</p> <p>また、河道内に堆積した流木等についても、治水上支障が生じないように撤去等を行います。</p> <p>なお、樹木の伐採などを実施するにあたっては、動植物の生息・生育環境が損なわれないように留意します。</p> <p>これらについて、計画案「p130 4.3.1(2)河道の維持管理」に記載しています。</p>	P 1 3 0

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
16	治水	<p>旧川部に泥が溜まっており水が流れていないため、泥を撤去して欲しい。</p> <p>JR唐津線、筑肥線、国道を横断する水路（ボックス）がある。松浦川からの水が緩いため土砂で埋まり水はけも悪い。人力ではどうにもならない整備計画の一つで取り上げてもらえないか？</p> <p>近年、堆積土砂が数カ所で見られるので撤去を行い、河川敷の整備管理を有効的に行えば、もっと地域環境及び自然との調和がマッチングできるのではと思います。水害予防のためにも。</p> <p>佐里下揚水ポンプ場で20町ほど導水。導水している前に中ノ島があって、土砂が堆積して、阻害となって、導水がなかなかできなくて困った。（駄瀬橋上流）何とかならないのか？</p> <p>河川にたまった土をとってもらいたい</p> <p>最近の大雨による河川流量が増加し、氾濫するため、巖木町岩屋橋周辺の河川内の堆積土撤去及び堤防等の整備をお願いします。巖木ダム建設後河川内の堆積土撤去ができていません。</p> <p>改修までの間、河川内堆積土砂の撤去を早急にしてほしい。 （巖木町巖木鶴の下流 もみの木橋下流）</p> <p>相知町佐里下駄瀬揚水ポンプ場は松浦川から導水していますが導水口の前に大きな中の島があり、今年の夏はこの中の島が障害となり導水に苦労しました。是非この中の島の撤去を是非お願いします。</p>	<p>流下阻害となっている河川内の土砂の撤去をしてほしい。</p>	<p>土砂の堆積による河道断面の阻害については、現時点では顕著な問題は生じておりませんが、洪水時には、上流域で生産された土砂が洪水とともに流下してくるほか、河道内の河床も同時に変動する可能性があることから、河道を適切に管理していくため、河道形状について定期縦横断測量を継続的に実施し河川形状の把握に努め、必要に応じて土砂を除去します。</p> <p>なお、土砂の撤去などを実施するにあたっては、動植物の生息・生育環境が損なわれないように留意します。</p> <p>これらについて、計画案「p130 4.3.1(2)河道の維持管理」に記載しています。</p>	P 1 3 0

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
17	治水	草は川の水際は刈っていないが、これは市のほうでやるのか。ゴミがいっぱい捨ててある。年は3～4回は刈ってほしい。	堤防の除草を定期的に行って欲しい。	河川管理施設については、洪水に対して所要の機能が発揮されるよう、河川巡視や点検時に施設被害、機能不具合等の確認に努め、計画的な補修、施設の更新・改築等を行い、各施設の機能の良好な状態に維持します。 なお、効率的・効果的な河川の維持管理が求められることから、維持管理については、「松浦川維持管理計画(案)」、「松浦川維持管理実施計画(案)」に基づき維持管理を行うこととし、実施にあたっては、維持管理の状態を把握・分析を通じ、維持管理の状態を評価し、その結果に応じて必要な措置を講じること、また両計画がより具体的な維持管理の基準となるようその内容を適宜充実させる旨を計画案「p129 4.3河川の維持の目的及び施工の場所」に追加記載し、実施の内容を「p131 4.3.1(3)河川管理施設の機能の維持」に記載しています。 なお、利水施設の維持管理は管理者が別の機関となることから、関係機関にご意見の旨をお伝えします。	P 1 2 9 P 1 3 1
		河畔公園付近の松浦川堤防には桜の木が植栽されていますが、春から秋にかけての除草が充分でない気がします。また、河川敷にも花木を植えたり除草をした方が環境美化にも良いと思います。			
18	治水	堤防上の舗装をして頂きたい	堤防や樋管など施設の維持管理(点検・改良・補修など)を継続的に行って欲しい。		
		樋門の屋根及び夜間作業時の照明を			
		古い水門の撤去を(危険)			
		千々賀と畑島の堤防上の道路に橋を(以前は橋が架かっていた)			
		どの項目も重要なものと感じています。堆積物が多く浅くなっている所も多いようです。松浦川に流れる支流(徳須恵川等)も同時に整備して欲しい。			
		日常生活の変化に伴い、整備後の施設の利活用をいかに図るかが問題である。もっと施設の維持管理面(河川内の竹林の伐採、堆積土砂の撤去)に力を入れて欲しい。			
		河川の清掃活動には毎年参加、本当にごみの山です。河川の保全は毎年の雨で土砂がたまるので土砂撤去及び土手の樹木の伐採が必要です。			
		国が管理する埋立地の使用については、借地料をとり防水などに使うべきでは。			
		堤防法面に猪が出没し法面が少々崩れかかるように泥を掘っている。稲作に被害も出ており猪対策もしていただければ良いと思います。			
		相知町佐里鶴田地区では堤防法面の泥を猪が掘っています。秋には水田も被害を受けており堤防水田を一体とした猪対策を考えていってはどうでしょうか。			
堰はラバー堰で耐用年数が30年になっているが、取替えのときは、国交省で対応できるのか。					

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
19	治水	上久里、久里地区は、今回整備メニューが載っていないが、ハザードマップには最大危険地帯として表示されている。このハザードマップがどういう基準で作成されているのか。	計画規模を超える洪水等による被害を想定した対策を	これまで、想定する計画規模の洪水を安全に流下させるために、堤防やダム等の整備を進め、治水安全度を向上させてきましたが、近年、全国各地で計画規模を超える豪雨が甚大な被害を及ぼしており、今後、計画規模を超える洪水の発生を想定する必要があります。このことから、施設整備のみで災害を防ぐという対策と合わせて、洪水が氾濫することを前提とした危機管理対策の必要性を計画案「p47-48 2.1.5 危機管理対策」に記載しています。 このため、これまで実施してきた取り組みも充実を図り、さらに広域的な支援体制の確立、地域の防災教育の推進等を支援し、平常時からの防災意識の向上を図り、自助・共助・公助のバランスのとれた地域防災力の構築に努めます。 これらについて、計画案「p93 3.4.5危機管理対策」、「p96 4.1.1洪水による災害の発生防止又は軽減」および「p136-140 4.3.1(7)危機管理対策」に記載しています。 また、更に災害に強いまちづくりを積極的に支援するため、氾濫域での土地利用のあり方等についても関係行政機関と連携した取り組み実施する旨、計画案「p148 5.1関係機関、地域住民との連携・協働」に追加記載しました。	P47- P48 P93 P96 P136- P140 P148
		地域の環境によって掘削又築堤又自然環境に応じた河川管理・整備事業をしていただきたいと思ひます。ハード面とソフト面を使い分けてお願い致します。			
		川岸にいろんな施設ができてきて川幅が狭くなってきているように思ひます。安全性の面からいってどうなのか、それと温暖化で、大雨が多くなるとか、水位が上がるとか言われておりますが、そのことも想定された上での対策がなされているのか心配しております。			
		降水量の変化が大きくなっているが、山林の保水を是非取り入れていただきたい			
		S28水が1/100とのことだが、今降ったら徳須恵川、松浦川はどのようなことになるのか。			
		防災関係のボランティアを国土交通省としてどのように進めていくのか？			
		防災マップについて久里地区で検討会を行いたいと思ひます。松浦川の河川の監視カメラは、一番近いところは、どこに設置されていますか。			
20	利水	水量が少ない。もっと水量を増やす。昔懐かしの魚がいない。	水量が少なく魚等が生息できない。水量を増やして欲しい。	計画案「p94 3.5河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標」、「p97 4.1.2河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持」および「p110 4.2.2河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する整備」に河川水の利用、動植物の保護、流水の清潔の保持等、流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保に努めること、また、確保にあたっては、関係機関との連携を図りながら、適正な水利使用の調整を行うことを記載しています。	P94 P97 P110
		昔川で遊んだ記憶があるが、現在は砂の粗いのがなくて泥のような川底になっていて、シジミなどが生息できない。川の流量を増やせないか？			
		魚の住まない川を魚の住む川に復元。絶対水量が少ない。よって、堆積土砂となり魚がいなくなる。			
		蔽木川の水量が少なくなった。多久のほうに水をやっているのもあるかもしれないが、農水省とタイアップして、蔽木ダム湖畔の植栽や上流のスギの間伐とかそういう計画はお持ちではないのか？			
21	利水	佐世保の湧水がニュースとなっていたが、北波多方面は何年かに一度大きな湧水がある。後川内まで高位な所ではなく、低地のダムとまではいかなくて、溜池を造って備えることが良いと思う。	農業用水等が安定して取水できるよう、湧水時の流量を確保して欲しい。	松浦川では、平成6年以降、大きな湧水被害は発生していませんが、近年、小雨と多雨の変動幅が増大しており、湧水が発生する可能性が懸念されていることから、計画案「p110 4.2.2河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する整備」には、湧水に関する情報提供、情報伝達等の体制の整備、湧水が発生した場合の被害軽減がはかれるよう関係機関との調整、円滑な水利使用の調整が円滑に行えるようにすること、また、湧水時の河川環境の保全と取水の安定化等のため、水量・水質の監視を行うとともに、蔽木ダム等の総合運用による補給等の調整についても行うことを記載しています。	P52- P53 P110
		湧水時の流量確保、農業用水の取水ができない			

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
22 -1	環境・ 利用	<p>すべては身近な自然に目を向けることからはじまると思う。</p> <p>松浦川水系では在来種のニッポンバラタナゴ等の姿が見られなくなり、危惧していますが、幸い松浦川本流にはアリアケギバチ、オヤニラミ等の魚類が生息しているので、川の流れ等が大きな変化が生じないことを願っている。</p> <p>松浦川から唐津湾へ流れこむ水の栄養分が不足しているように思われる。河川周辺の山の整備と、砂をとめない工夫が欲しい。</p> <p>以前のように豊かな自然（フナ・カニ等）が戻り、鳥等もくるような川であってほしい。</p> <p>自然を大切にしてほしい</p> <p>川幅を広くした（安全・安心の中で）魚や植物の確保</p> <p>人と動植物との共存共栄であること。</p> <p>厳木川に魚がない。魚の住めない川になった。元に戻せ！</p> <p>死に水の厳木川。魚の住んでいない川。元に戻すこと！</p> <p>「松浦川の川づくりの方向性」について、具体的な方向性を教えて欲しい。魚がだんだん少なくなってきているが、それはどこに原因があるのか。またそれをどのように改善していき、親しむことが出来るような川にするための方向性や計画を具体的に教えて欲しい。</p> <p>今後、河川改修だけじゃなくて、川をいかに豊かにしていくかということにしても、また非常に大事になってくるんじゃないか。そういったことの取り組みについては、具体的には私たちがどう利用するかということが大事である。</p>	<p>動植物の生息・生育環境の保全・再生を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚がたくさんすむ川に ・淵や深みを多く ・魚道の設置を ・シジミが住める川に ・鳥も沢山くるように 	<p>松浦川が流域生態系の重要な場としてその役割を担っている一方で、河道改修による川の多様性の消失、河川の連続性の分断、氾濫原的湿地の消失、外来種生物の増加、河口部の環境変化を課題として挙げられます。</p> <p>これらを踏まえ、計画案「p95 3.6河川環境の整備と保全に関する目標」として、治水・利水との調和を図り、松浦川と流域の人々との歴史的で文化的なつながりを踏まえて、多様な動植物が生息・生育する豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐよう瀬・淵をはじめ川の縦断的・横断的なつながりを保全・再生し、動植物の多様性を確保することとしております。</p> <p>また、実施にあたっては、計画案「p97-98 4.1.3河川環境の整備と保全及び河川利用の場の整備」「p111 4.2.3河川環境の整備と保全及び河川利用の場の整備」に瀬・淵、砂礫河原、河畔林、汽水域など豊かな自然環境や景観を形成し、多様な動植物の生息・生育基盤となっているとともに、周辺の自然環境と一体となって地域の生態系を維持していく上で重要な役割を担っているということ念頭に河川環境の保全・再生を行う必要があることから、その旨を追加記載し、治水との調和を図りながら、地域住民及び自治体等と連携し、学識経験者等の意見を聞きながら、動植物の良好な生息・生育環境を保全します。また、再生が必要と考えられものについては、先例である「アザメの瀬」での取り組みを模範にしながら、必要に応じて具体的な計画を立案し対策を講じていきます。</p> <p>その上で、松浦川の河川環境を向上させるための柱として、計画案「p111-120 4.2.3河川環境の整備と保全及び河川利用の場の整備」に以下の6項目を記載しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①河畔林、瀬・淵、砂礫河原の保全再生 ②河川の多様性の再生・確保 ③魚類等の移動からみた河川の連続性 ④氾濫原的湿地の保全・再生 ⑤砂質干潟・塩生湿地の保全 ⑥在来種の保全 <p>これらを念頭におき、具体の保全・再生箇所について、計画案「p127-128 河川環境の整備と保全及び河川利用の場としての整備箇所」として記載しています。</p>	<p>P 5 4</p> <p>P 9 5</p> <p>P 9 7 -</p> <p>P 9 8</p> <p>P 1 1 1 -</p> <p>P 1 2 0</p> <p>P 1 2 7 -</p> <p>P 1 2 8</p>

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
22 -2	環境・ 利用	<p>昔の様な魚が沢山いる川に戻して欲しい。今後は、①もっと放流量を多くして②確実な魚道を設置して③川岸の整備（釣り場の確保等）し、多くの人が訪れ釣りが楽しめる川に戻してもらいたい。</p> <p>外来種、ブルーギル、ブラックバスの駆除、河口のカキ山の問題、ハママツナの移植計画が何ら進行していない。</p> <p>シジミが住める川に戻したい。</p> <p>松浦川は利水、環境、自然学習（水草や魚など）等、重要な生活環境の1つです。人工的にあまり整備は必要ないと思います。唐津の1つの宝です。</p> <p>歴史的な河川建造物を生かした自然公園の整備。コンクリート護岸を自然石にして、魚やカニ、水生生物の住みやすい環境にする。河川が浅くて魚が少ないので、瀬や深みを多く造ってください。</p> <p>自然をこわさない整備を。</p> <p>河川の中にはえている「木」とか「よし」を除去して頂き、うなぎとかカニが住める環境にしてもらいたい</p> <p>駒鳴の旧川部について、現状としては旧河川の方になかなか水が行かない状況である。もっと水が流れれば良い環境になるのではないか。水を流して欲しい。</p> <p>アザメの瀬の中の散策道に大きな木を植え木かげを作ったら、人も、魚たちも夏は休めると思う。</p> <p>そのままがいい。</p> <p>自然のママ。</p>	<p>動植物の生息・生育環境の保全・再生を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚がたくさんすむ川に ・淵や深みを多く ・魚道の設置を ・シジミが住める川に ・鳥も沢山くるように 	<p>松浦川が流域生態系の重要な場としてその役割を担っている一方で、河道改修による川の多様性の消失、河川の連続性の分断、氾濫原的湿地の消失、外来種生物の増加、河口部の環境変化を課題として挙げられます。</p> <p>これらを踏まえ、計画案「p95 3.6河川環境の整備と保全に関する目標」として、治水・利水との調和を図り、松浦川と流域の人々との歴史的で文化的なつながりを踏まえて、多様な動植物が生息・生育する豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐよう瀬・淵をはじめ川の縦断的・横断的なつながりを保全・再生し、動植物の多様性を確保することとしております。</p> <p>また、実施にあたっては、計画案「p97-98 4.1.3河川環境の整備と保全及び河川利用の場の整備」「p111 4.2.3河川環境の整備と保全及び河川利用の場の整備」に瀬・淵、砂礫河原、河畔林、汽水域など豊かな自然環境や景観を形成し、多様な動植物の生息・生育基盤となっているとともに、周辺の自然環境と一体となって地域の生態系を維持していく上で重要な役割を担っているということを念頭に河川環境の保全・再生を行う必要があることから、その旨を追加記載し、治水との調和を図りながら、地域住民及び自治体等と連携し、学識経験者等の意見を聞きながら、動植物の良好な生息・生育環境を保全します。また、再生が必要と考えられるものについては、先例である「アザメの瀬」での取り組みを模範にしながら、必要に応じて具体的な計画を立案し対策を講じていきます。</p> <p>その上で、松浦川の河川環境を向上させるための柱として、計画案「p111-120 4.2.3河川環境の整備と保全及び河川利用の場の整備」に以下の6項目を記載しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①河畔林、瀬・淵、砂礫河原の保全再生 ②河川の多様性の再生・確保 ③魚類等の移動からみた河川の連続性 ④氾濫原的湿地の保全・再生 ⑤砂質干潟・塩生湿地の保全 ⑥在来種の保全 <p>これらを念頭におき、具体の保全・再生箇所について、計画案「p127-128 河川環境の整備と保全及び河川利用の場としての整備箇所」として記載しています。</p>	<p>P 5 4</p> <p>P 9 5</p> <p>P 9 7 -</p> <p>P 9 8</p> <p>P 1 1 1 -</p> <p>P 1 2 0</p> <p>P 1 2 7 -</p> <p>P 1 2 8</p>

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
23	環境・利用	<p>川魚のための魚道を整備して遡上させやすくしなければならないと思います。</p> <p>生態系に配慮し育む河川整備と改修が望まれる。特に河川から水路～水田へのつながりのある整備が必要である。</p> <p>下水道施設の状態が良くなった現在、小さな小川、溝の床底のコンクリートは取り除いたら、小魚も増え、子どもの学習にもなるだろう。</p> <p>松浦川本流へ流れ込む小さな支流への魚道の設置</p>	<p>魚道の整備や河川から水路へのつながりのある整備が必要。</p>	<p>魚類等の移動については、魚類等の生息・生育環境に配慮し、河川を遡上・降下する魚類等が上下流を自由に移動できるよう、堰等の河川横断工作物には施設管理者と連携し、必要に応じて魚道を整備すること、河川につながる水路等においても、自治体等と連携し必要に応じて連続性の確保に努めることを計画案「p95 3.6河川環境の整備と保全に関する目標」に記載しています。なお、魚道整備の具体的箇所については、「p116-117 4.2.3河川環境の整備と保全及び河川利用の場としての整備3)魚類等の移動からみた河川の連続性」に記載しています。</p>	<p>P 9 5 P 1 1 6 - P 1 1 7</p>
24	環境・利用	<p>現在、徳須恵川水系の大曲地区より桃川のほうに泥を搬入されている。十四、五年前に水留よりカワバタ地区に泥が搬入されたが、それにジャンボタニシがついてきて、大発生しました。今後発生しないように泥の管理をしてほしい。</p> <p>私達の子供のころ、松浦川は自然にあふれ、うなぎ、カニ、エビ等取って遊んでいました。現在は外来魚によって、川の生態系がおかされていますので、外来魚駆除をお願いします。今後の子供が松浦川に親しみをもてますように。</p> <p>外来種の駆除、生態系のバランス…、希望を出せばキリがありませんが、国土交通省が出来る範囲でがんばって下さい。</p> <p>アザメの瀬ではシードバンクをしているが、今どのような植物が出てきているか。</p>	<p>外来種の駆除をして欲しい。</p>	<p>外来種生物については、松浦川水系内でも多数の外来種が確認されており増加が懸念されること、また外来生物法での飼育や運搬の制限や防除、佐賀県条例による禁止事項について計画案「p75 外来生物の増加」に追加記載し、このことから、外来種への対応については、河川管理者だけでなく地域住民や河川利用者の理解と協力を得ることが必要であること、住民等に対する広報・啓発活動や、モニタリングを行うとともに、外来種の侵入、持ち込みなどの未然防止、侵入が予測される場合やすでに侵入したものについての対策等を講じることを計画案「p120 4.2.3河川環境の整備と保全及び河川利用の場としての整備 6)在来種の保全」に記載しています。また、外来種対策の実施にあたっては、地域住民や市民団体と連携し効率化に努める旨を、追加記載しました。</p>	<p>P 7 5 P 1 2 0</p>

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
25	環境・利用	<p>河辺でウォーキングなど散歩コースがあるとよいと思います。</p> <p>河川敷の遊歩道の整備をお願いしたい。なるべく自然を残してほしい。</p> <p>河川内にある中洲の整備、河床の浚渫及び自然石等の投入を行い河辺で遊べるような施設の設置をしてほしい。堤水護岸を散策出来るように整備をしてほしい。</p> <p>川沿いを散歩できるような整備をしてほしい。(公園的なものと一体化)</p> <p>自然豊かな松浦川でありつづける事を望んでいます。もっと川面に近寄れる施設が多ければ…と思います。</p> <p>松浦川の利活用について、唐津から管理道路ができて(山崎まで)これを何とか利用できないか?簡易舗装でもしていただいて、サイクリング、ジョギングなど親しみの持てる利用のあり方を考えてほしい。</p> <p>横枕堰より下流、除草がしてあり、良い環境になっている。堰～浦の川橋にはジョギングとか散歩の人が多いため、是非利用を考えてほしい。</p> <p>堤防のジョギング、散策道への利活用</p> <p>河川堤防の活用(遊歩道など)、横枕井堰上流の水面も活用した水辺の楽校(カヌー教室など)</p> <p>利活用拠点を作り、水辺に近づきやすく、堤防の除草を行い、子供が親しみやすい様な水辺づくりを望みます。</p> <p>県の漕艇場の施設をもっと整備して、もっといろんな活動ができるようにしてください。</p> <p>水辺の楽校を上流にもほしい。子供の遊び場を増やしたい。</p> <p>水辺拠点の設置をどのように考えているのか。</p> <p>これ以上の堤防整備は止め、学習の場所を拡張すべきである。</p>	<p>散策、サイクリング、ジョギングなど、住民が日常生活の中で川を利用できるような整備や拠点の整備をしてほしい。</p>	<p>松浦川は、地域の住民団体等による河川愛護の啓発活動等、河川を軸とした様々な活動が展開されており、今後、水辺とのふれあいの場や河川空間を利用した自然体験や環境学習の場のさらなる確保が求められており、これらを踏まえ、河川空間の利用に關しましては、計画案「p95 3.6河川環境の整備と保全に関する目標」に流域の人々の生活の基盤や歴史、風土を形成してきた松浦川のたくさんの恵みを活かしながら、スポーツ・レジャー、自然とのふれあいや環境学習の場の整備・保全に努めること、また、河川を通じた地域間交流等を推進し、川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持・整備に努めることを記載しています。計画案「p111 4.2.3 河川環境の整備と保全及び河川利用の場としての整備」に、河川空間を利用した自然体験や環境学習、水面・高水敷利用などについては、市町村や地域住民等と協議し役割分担を行い、条件が整ったものから順に整備に取り組むことを記載しています。</p> <p>実施にあたっては、松浦川が地域社会に活力を与え、地域および地域間のコミュニティの形成につながる重要な存在であることを再認識し、沿川の歴史、文化や「まちづくり」と調和した快適な河川空間の整備を地域と協働し進めます。</p> <p>実施までの具体的な進め方としては、河川管理者や地方公共団体、地域住民等各主体の多様な関わりを再認識し、情報の共有を通じてお互いの理解を深め、日常的な意見交換のレベルから議論を行い、合意を形成するレベル、さらに地域住民等が整備や管理の一部を担うレベルまで、多様な主体によるパートナーシップの仕組み作りから取り組み、合意を形成するプロセスを重視して計画を立案していきます。</p> <p>なお、具体的整備内容については、水辺や河川敷等に近づきやすくするための護岸や階段、スロープ、自然観察路、河川学習施設及び管理用通路を利用したサイクリングロードなどを考えておりまして、計画案「p121「1)人と川のふれあいに関する施策の推進」に記載しております。</p> <p>ここで、地域の方々の意見として多く寄せられた「堤防等を利用したサイクリングロード」について、追加記載しました。</p>	<p>P80-</p> <p>P84</p> <p>P95</p> <p>P111</p> <p>P121</p>

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
26	環境・利用	<p>親水公園横せせらぎ川の整備。子供の遊べる水遊びの出来る様にしていきたい。</p> <p>親水公園を何とか再生させたいと松浦町民一同考えております。どうぞお力をお貸し下さい。</p> <p>桃川親水公園のせせらぎ川について、川底が浅いため通常時はほとんど水が流れていない。また、洪水時は土砂とゴミが流れ込み、堆積している状況である。水路を深めて川幅を広くして、子供達が遊べるような整備をして欲しい。</p> <p>中之島について、竹が多く生えており、今年の春に半分ぐらい切ったが、現在またもとの状態になってしまっている。あそこで子供たちが遊べるようにするために、河畔林とか竹を伐採し、遊歩道などの整備をして欲しい。</p> <p>渇水のことについて、前年は洪水もあり、水が豊富だった。町切堰の魚道に水がのっかっていない。観音橋から上流も魚が遡上していない。魚道の整備は考えているのか。町切堰の形状が悪いので、洪水時に流れを阻害している。渇水時に水が乗るように改良できないのか。(魚道の点検)</p> <p>水辺の楽校の看板を国道から見えるところに設置してほしい。</p> <p>樋門が河童に似ているので色を塗っていただけませんか？</p> <p>水辺の楽校を示す看板(サイン)やトイレなどが無い。</p>	<p>水辺の楽校整備箇所等、既往施設については点検を行い、改善してほしい。</p>	<p>人と川のふれあいに関する整備を行った箇所については、市民団体等と連携した「川の通信簿」による点検や地域の実情に精通した公平な立場にある学識経験者等に指導や助言をいただく等、継続的にモニタリングを実施し、必要に応じて手直し等を行います。また、全川にわたって、松浦川の河川空間を快適に利用できるよう整備された各種施設等の機能が確保されるよう、関係機関や流域住民等と連携し、適正に維持管理を行っていきます。これらについて、計画案「p121-122 4.2.3(2)河川空間の整備と適正な利用」「p144 4.3.3(3)河川空間の適正な利用」に記載しています。ここで、全川にわたって、松浦川の河川空間を快適に利用できるよう整備された各種施設等の機能が確保するため、関係機関や流域住民等と連携し、適正に維持管理を行うことを追加記載しました。</p>	<p>P 1 2 1 -</p> <p>P 1 2 2</p> <p>P 1 4 4</p>

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
27	環境・利用	昔は泳げた。今は汚くて泳げない。 松浦川が昔のように遊べるような川になって欲しい。 子供達の水遊びのできる松浦川 子供達と共に河川内で水遊び・水泳等が出来る環境が希望。 子供達には川には近づかないようにと指導していましたが、大人が安全面に気をつけて親しみのある河川になればよい。 人と川のふれあいとはどのような整備を考えているのか？ 川の近くで子供が遊べるように整備。 もっと川で遊びやすくしてほしい。 子供たちが安全に水に親しめる様な川づくりをお願いします。 松浦川の歴史、状況が分かりやすく展開してあり、良かった。河川敷での活用を幅広く多くの方が利用できるように！ 子供達は堰で遊ぶ川を奪われています。是非遊ぶ川を作ってください。 子供達が遊べる川づくりをお願いします。昔は川で遊べるのが唯一の楽しみでした。川と共に生きる喜びを与えて下さい。整備計画の実現を期待しています。 上流の湛水区間について、ボートなど家族で親しめる場になるのではないかと。 巖木川横枕井堰付近魚を養殖して釣りが親子で楽しく出来たらよいと思う。 親水公園の件で、子供達が描いた公園が出来れば、その思いが将来に受け継がれ、親しまれると思うため、是非整備をして欲しい。	川遊びなど川と親しめるような取り組みを行って欲しい。	河川空間の利用に関しましては、流域の人々の生活の基盤や歴史、風土を形成してきた松浦川のたくさんの恵みを活かしつつ、スポーツ・レジャー、自然とのふれあいや環境学習の場の整備・保全に努めます。また、河川を通じた地域間交流等を推進し、川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持・整備を目指します。 これらについて、計画案「p95 3.6河川環境の整備と保全に関する目標」に記載しています このことから、地域の方々が川と健全に向きあうことができるよう、川遊びや水生生物調査、地域の行事、環境学習など水辺の自然体験活動等の機会を提供していくとともに、これからの自然体験活動の指導者育成、将来の地域を担う子供達への環境学習への積極的な支援など、松浦川への関心を高めてもらうための活動を行う旨を計画案「p124 川に親しむ取り組み」に記載しています。	P 9 5 P 1 2 4

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
28	環境・利用	松浦川河川敷に、今のところ樹木とか植えてないので、松浦橋からながめた時、桜の木など植えたらとてもよい景観になると思う。水面に浮かぶ桜並木はとても圧感だと思うがいかがだろうか。	松浦川の美しい風景を生かせるような川づくりをしてほしい。	松浦川には、自然の営みによって形成された河川景観に加え、流域の歴史・文化と関わりが深い河川景観が存在し、それらに調和した河川整備が求められていることを計画案「p87-88 2.3.3河川景観」に記載しています。 これを踏まえ、計画案「p95 3.6河川環境の整備と保全に関する目標」「p97 4.1.3河川環境の整備と保全及び河川利用の場としての整備」「p125-126 (3)河川景観の維持・形成」において、良好な景観の維持・形成については、松浦川の流れが織りなす良好な河川景観の保全を図るとともに、中上流部は田園風景と調和した河川景観、河口部は歴史・文化との関わりが深い唐津城と調和した河川景観の保全に努めること、また、藩政時代に築造された井堰等の歴史的建造物についても保全に努めることを記載しています。	P87- P88 P95 P97 P125- P126
		松浦川河川に1年中 季節の花を咲かせ、唐津を訪れる人は勿論、多くの老若男女が花に誘われ、写真撮影や絵画を楽しむ光景を想像します。管理は地域の協力が必要ですが法的に許されるのであれば貴事務所で検討をしていただきたい。			
		河川堤防に河川林を植えてもらいたい。例：桜や柳など河川林があれば憩いの場にもなります。			
		右岸左岸に桜、もみじを植樹し、蔽木～相知間の川下りを考えて下さい。維持管理は住民に願います。			
		毎日堤防を散歩しています。横枕井堰周辺に桜の木を植栽できないですか？ 唐津の美しい風景にも大いに寄与していると思います。松浦橋から鏡山を臨むながめの美しさを見るたびに、よその遠いところへ旅行なんか行かなくても、充分だと思っています。			
29	環境・利用	土井地区に是非、多くの人々が集い、水辺に親しめる公園を創って下さい。	土井地区の旧川部を利用し、川と親しみながら環境学習ができる場の整備をしてほしい。	具体の整備箇所として、「計画案p127-128 河川の多様性の再生・確保に努めるとともに、川と人のふれあいの場を整備します」と記載しています。 実施にあたっての考え方としては、計画案「p111 4.2.3河川環境の整備と保全及び河川利用の場としての整備」において、整備した後も地域に愛される場所となるよう、自然体験や環境学習、水面・高水敷利用など、市町村や地域住民等と協議し役割分担を行い、条件が整ったものから順に整備に取り組むことと記載しています。 実施までの具体的な進め方としては、河川管理者や地方公共団体、地域住民等各主体の多様な関わりを再認識し、情報の共有を通じてお互いの理解を深め、日常的な意見交換のレベルから議論を行い、合意を形成するレベル、さらに地域住民等が整備や管理の一部を担うレベルまで、多様な主体によるパートナーシップの仕組み作りから取り組み、合意を形成するプロセスを重視して計画を立案することを計画案「p121-122 1)人と川のふれあいに関する施策の推進」に記載しています。	P111 P121- P122 P127- P128
		土井地区の環境整備の考え方として、自然環境を残し、小学校・中学校の生徒が学習できる場所として利用される様な親水公園を作るべきだ。			
		大堰でせき止められて昔のような川を感じられなく思う。川が目の前にしてあるが、なかなか利用できない、危ない、寄り付きがたいような場所になっているので、川をきれいにしてみようということで川辺の会を結成して、子供たちにも川のよさを味わってもらいたいので、よろしく願いたい。			
		川辺の会で土井地区の環境整備計画を検討中。10月に旧河川の実態調査をしたが、現在のままではうっそうとしていて人が入れない。			
		昔松浦川は私たちの生活にとけ込んでいたが、今は子供達も含め、川とふれ合う事はなく、「川＝危険」という認識がある。土井地区に環境整備されるのであれば、親水公園や散歩道など、川と親しめる整備をして欲しい。			
		川辺の会を今年発足し、現在月に1回ぐらい勉強会をやりながら検討しています。来年度から本格的にお願いしながら、勉強会をしていきたいと思っているので、予算化をできるだけ早く願いたい			

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
30	環境・利用	大黒井堰については、親水のいい場所になるんじゃないかなと思っています。私たちが今後具体的にどういうふうにしようとするのか、そういうことを詰めていきたい。	大黒井堰周辺を川と親しみながら歴史が学べる場の整備をして欲しい。	<p>具体の整備箇所として、計画案「p127-128 人と川のふれあいの場を整備するとともに、歴史文化に根ざした川づくりに取り組む」と記載しています。</p> <p>実施にあたっての考え方としては、計画案「p111 4.2.3河川環境の整備と保全及び河川利用の場としての整備」において、整備した後も地域に愛される場所となるよう、自然体験や環境学習、水面・高水敷利用など、市町村や地域住民等と協議し役割分担を行い、条件が整ったものから順に整備に取り組むことと記載しています。</p> <p>実施までの具体的な進め方としては、河川管理者や地方公共団体、地域住民等各主体の多様な関わりを再認識し、情報の共有を通じてお互いの理解を深め、日常的な意見交換のレベルから議論を行い、合意を形成するレベル、さらに地域住民等が整備や管理の一部を担うレベルまで、多様な主体によるパートナーシップの仕組み作りから取り組み、合意を形成するプロセスを重視して計画を立案することをします。計画案「p121-122 1) 人と川のふれあいに関する施策の推進」に記載しています。</p>	P 1 1 1 P 1 2 1 - P 1 2 2 P 1 2 7 - P 1 2 8
		中之島の土地の活用について、記念碑の字が読めるような環境づくりをして欲しい。			
		大黒井堰の下流は非常に浅く、子供達の遊び場に適している。わざわざ親水公園にしなくても自然の状態で子供達が遊べるのではないか。			
31	環境・利用	旧貯木場跡地公園（唐津市）付近への集中的な水際アクセスの整備！！（親水公園としての）	松浦川河口部において、人と川がふれあえるような整備をしてほしい。	<p>具体の整備箇所として、河口部については、河口部周辺について、人と川がふれあえるような整備が必要であることから、整備箇所範囲を変更して、計画案「p127-128 人と川のふれあいの場を整備する」と追加記載しました。</p> <p>実施にあたっての考え方としては、計画案「p111 4.2.3河川環境の整備と保全及び河川利用の場としての整備」において、整備した後も地域に愛される場所となるよう、自然体験や環境学習、水面・高水敷利用など、市町村や地域住民等と協議し役割分担を行い、条件が整ったものから順に整備に取り組むことと記載しています。</p> <p>実施までの具体的な進め方としては、河川管理者や地方公共団体、地域住民等各主体の多様な関わりを再認識し、情報の共有を通じてお互いの理解を深め、日常的な意見交換のレベルから議論を行い、合意を形成するレベル、さらに地域住民等が整備や管理の一部を担うレベルまで、多様な主体によるパートナーシップの仕組み作りから取り組み、合意を形成するプロセスを重視して計画を立案すること計画案「p121-122 1) 人と川のふれあいに関する施策の推進」に記載しています。</p>	P 1 1 1 P 1 2 1 - P 1 2 2 P 1 2 7 - P 1 2 8
		東町の所まで堤防を続けて自転車道にしてください。高校生が朝の車の多いときに裏道があれば安全です。単一の工事ではなく総合的に計画してください。			
		唐津大橋下の干潟になるところで生物観察会を行ったが、その護岸が滑りやすいため、階段などがあればいいと思う。			

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
32	環境・利用	河口域でハママツナの移植をされているが、その移植の範囲をどれくらいまでやっていただけるのか。カキ礁について貝類の専門家の人に見てもらったが、全国にあるカキ礁とはちょっと違う形のものじゃないかと言われた。できれば、そういう貝類の専門の方を呼んで、もう一度、このカキ礁の特性を調べていただいたほうがいいんじゃないかなと思う。	動植物の生息・生育状況に関するモニタリングを継続的に実施してほしい。	計画案「p142 4.3.3(1)動植物の生息・生育環境の保全」に動植物の生息・生育状況のモニタリングについては、河川水辺の国勢調査の継続的实施や地域住民と連携した水生生物調査などの実施など河川特性や動植物の生息・生育状況に関するモニタリングを継続的に実施することを記載していますが、更に、河道掘削等により、大規模な改変が生じる箇所や魚道等を整備した箇所においては、必要に応じて追跡調査を実施するなど、その影響や効果の把握に努める旨を追加記載しました。 特に、松浦川河口域は広大な水面を有し、水面は鳥類の休息の場となり、干潮時に出現する砂質干潟は希少種であるハクセンシオマネキ等の生息場になっているなど良好な環境を有している河口域ですが、一方で市街化の進展に伴う水質の悪化や河川改修、砂利採取等によって川の物理環境や生態環境が変化してきています。このため、学識経験者等の意見を聞きながら、継続的に流れや水質、カキ礁の分布調査等を実施し、必要に応じて対策を講じていくことを計画案「p119 4.2.3 5)砂質干潟・塩生湿地の保全」に記載しています。	P119 P142
33	環境・利用	生活排水がそのまま流れ込まず、きれいな水で子供が遊べる川であってほしい。	水質の浄化対策や発生源対策が必要。	水質に関しては、松浦川全体を通して環境基準値を維持していますが、今後も流域全体で良好な水質の保全に努めることを計画案「p77-79 2.3河川環境の現状と課題⑥水質」に記載しています。河川及び厳木ダムの水質調査の定期的・継続的实施、厳木ダムの水質監視、佐賀県及び市等との水質改善へ向けた啓発活動及び水質事故発生時の対応等についての連携強化、地域住民の関心を高めるための水質調査、水質保全に関する啓発、情報交換、連携の強化などの対策を計画案「p143 4.3.3(2)水質の保全」に記載しています。	P77- P79 P143
		水質浄化			
		北波多は徳須恵川を生活用水として使っているので、とにかく川を美しくしてもらいたい。特に徳須恵付近の汚れがひどいと思われるのでなんとかならないか。			
		水質・底質の浄化を行うべきである。			
		水質向上の為の施策（小さい堰、植物、汚濁向上機器の設置、下水道工事の向上、上流他市への働きかけ）			
		生活用水の水質浄化。川の水質を見る限り飲む気がしない。			
		河川内水質浄化を進めて頂きたい。水質が悪い。			
		子供が安心して水遊びできるよう、水質の改善を望む。			
		安全安心出来る水質にする汚染対策を推進してほしい。			
		もっともっと水質が良くなればと思います。			
		徳須恵はカヌー教室をしているが、大腸菌群数も多いと聞いており、衛生面を考えるべき。			
		相知町産廃施設と松浦川河川水の状態変化、留意点など係数的に知りたい。子孫の為に。			

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
34	環境・利用	<p>松浦川から揚水機場で上場のほうに揚げているが、何月ごろにどのくらいあげているのか。また、潮止めする必要がないのであれば、開けて昔の松浦川がどうであったのかなど見てみたい。</p> <p>松浦大堰を定期的に開いて流す方法はないのでしょうか？利水と環境についても一考をおねがいしたい。</p> <p>支流の徳須恵川、水が澱んで川底にヘドロの堆積が考えられる。大潮の干潮時に松浦大堰のゲートを上げて大きく水流を起こしヘドロ類を運搬させて貰いたい。</p> <p>松浦大堰のゲート開放を計画的に月に一度、大潮干潮時に実施し、堆積した有機物、ヘドロの流水による運搬除去をしてほしい。</p>	<p>水質改善のため、松浦大堰を定期的に開け、土砂や有機物を運搬除去してほしい。</p>	<p>水質に関しては、松浦川全体を通して環境基準値を維持していますが、今後も流域全体で良好な水質の保全に努めることを計画案「p77-79 2.3河川環境の現状と課題⑥水質」に記載しています。河川及び厳木ダムの水質調査の定期的・継続的实施、厳木ダムの水質監視、佐賀県及び市等との水質改善へ向けた啓発活動及び水質事故発生時の対応等についての連携強化、地域住民の関心を高めるための水質調査、水質保全に関する啓発、情報交換、連携の強化などの対策を計画案「p143 4.3.3(2)水質の保全」に記載しています。</p> <p>なお、松浦大堰の目的として、塩害の防止が含まれており、松浦大堰の常時開放は困難です。なお、流量が300m³/s以上になると松浦大堰の全ゲートを全開操作しており、洪水時は通常の河道状態となっていることから、今後とも引き続きモニタリングを継続していくこととしています。</p>	P77- P79 P143
35	環境・利用	<p>河川管理上の為か、堤防天端への第三者立ち入り禁止（車の乗り入れ）柵が設けられている箇所があるが、人と河川とのふれあい創出第一歩のためにも解放を</p> <p>十四、五年ぐらい前から松浦川のほうでボートを使った魚釣りをしており、西九州道路の橋桁からボートをおろしていますが、去年よりの工事で、現在段差がついており、車がおろせない状況となっている。工事が終わり次第元に戻してもらいたい。</p>	<p>河川空間や水面利用が快適に出来るよう利用促進やルール作りをおこなってほしい。</p>	<p>河川空間の適正な利用に関しては、治水、利水及び動植物の生息・生育環境、河川景観との調和を図り、松浦川の魅力を向上させるよう、河川の特長や地域の特性、利用状況等に応じた適正な河川利用の促進に努めること、また適正な利用がなされるよう必要に応じて利用者や関係機関、地元住民等と調整し、ルール作りを行うことを計画案「p144 4.3.3(3)河川空間の適正な利用」に、記載しています。</p>	P144
36	環境・利用	<p>不法投棄の強化</p> <p>山本の坊中川との合流点付近にごみが埋まっている。調査を実施し、環境面からもあの辺を整備をしていただきたい。</p> <p>私は川が大スキです。いつも遊んでいるので、キレイにして下さい。</p> <p>汐止めのところ、上の方から上流の方から物が流れて来る～ゴミを上げる。</p> <p>流木やゴミ等があって整理したくても水際までおいていけない。これでは河川に親しむ事が出来ない。</p> <p>町切地区が整備予定ですが長部田地区への頭首工があります。ゴミ等が集積されて管理が大変です。改良の折、どうにか出来ないのでしょうか。</p> <p>河原橋の桁のところにあくぞがつく。大水のときに両脇流れていくようにできないか。（三角の板のようなもの）</p>	<p>流木やゴミなどの対策をして欲しい。</p>	<p>松浦川の流域に捨てられたゴミは、洪水等により支川及び排水路等を通じて松浦川に流入することから、下流部や海岸部では多量のゴミの処理に労力と費用を要しているとともに、河川利用や漁業、舟運等の支障になっていることを計画案「p85 2.3.2(2)河川に流入、投棄されるゴミ等」に記載しています。</p> <p>このことから、河川に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、地域住民及び企業等の参加による河川美化・清掃活動を自治体と連携して支援し、美化意識の向上を図ります。また、河川区域内へのゴミの不法投棄については、未然防止を図るとともに、関係市町村や警察と連携し対処します。</p> <p>また、洪水時に流下するゴミや流草木については、塵芥処理等を継続するとともに、自治体及び施設管理者との連携を深め、河川への流出量の削減に努めます。これらについて、計画案「p145 4.3.3 河川環境の整備と保全に関する事項 (4)河川に流入、投棄されるゴミ等の対策」に記載しています。</p>	P85 P145

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
37	環境・利用	「雑草や樹木が生い茂って、汚水が流れこんで濁った川」。そんな川には絶対にしてほしくない。住民が誇れる美しい川にしてほしい。治水のために人工物を構築するのも分かるが、財源がない中であまり無理はしないでほしい。その分、浄化・美化につきこんだ方がいいと思う。	住民が誇れる美しい松浦川にするため河川愛護活動が必要。	河川美化に関しては、河川愛護団体や自治体、国、県のそれぞれで役割を分担・連携し、地域活動・地域コミュニティによる河川美化や維持管理に対する取り組みを推進します。取り組みの推進にあたっては、全国的に展開されている「ラブリバー制度」による河川美化活動やアドプト・プログラム制度による河川管理などを参考にして、地域活動・地域コミュニティによる河川美化や維持管理に関する取り組みを促進していきます。これらについて、計画案「p145 4.3.3 河川環境の整備と保全に関する事項 (4) 河川に流入、投棄されるゴミ等の対策」に記載しています。	P 1 4 5
		ゴミが横枕堰に流れ着き、処理が大変である。このゴミは、捨てられたゴミではなくて、農業用のものも台風時には多い。この辺の対策は、風に飛ばされないとかそういうものも考えていかなければならない。			
		松浦川をきれいにする取り組みをたくさんしましょうよ。			
		堤防等が整備されながらも、自然豊かで、地域（人）と川とがふれあえる葎木川である様に、住人達も意識して河川美化に努めたい。			
		環境と防犯防災の関係について（例：美しい川では犯罪は起きにくい。目の行き届かない場所では、違法な事が起きやすい）等の研究			
		干潮時に松浦橋の上から見て下さい。多量のビニール袋等があり、バスで通る私は心苦しく、観光バスでこられる方々は、これを観られて、唐津の環境問題をどう感じていらっしゃるか。建物だけじゃなくこういう所も目を向けてほしい。一市民として切望します。			
環境・利用	美しい川にするための活動	美しい川にするための活動	住民が誇れる美しい松浦川にするため河川愛護活動が必要。	河川美化に関しては、河川愛護団体や自治体、国、県のそれぞれで役割を分担・連携し、地域活動・地域コミュニティによる河川美化や維持管理に対する取り組みを推進します。取り組みの推進にあたっては、全国的に展開されている「ラブリバー制度」による河川美化活動やアドプト・プログラム制度による河川管理などを参考にして、地域活動・地域コミュニティによる河川美化や維持管理に関する取り組みを促進していきます。これらについて、計画案「p145 4.3.3 河川環境の整備と保全に関する事項 (4) 河川に流入、投棄されるゴミ等の対策」に記載しています。	P 1 4 5
		いろんな人々が訪れる美しい川にするための活動			
		河川の堤防出入り口付近に不法投棄と併せてマナーアップを促す看板の設置を検討頂ければとお願い致します。			
		川に対して物の投げ込みをしないこと			
		河川敷地内の除草を地区ごとに依頼し河川愛護意識向上に努めてもらいたい。			
		ゴミなど、拾ったらいいと思う。			
		町で、川の草をむしるなど、清掃活動をしたらいいと思います。			
		もっと町の人たちに呼びかけてほしい。ゴミを捨てたりすると、私達の未来が心配です。地球を救おう!!!			
		大雨増水後の川岸の清掃を			
		草刈りと同時にゴミ（空き缶、ポリ容器）の片づけも			
定期的ゴミ収集を					
38	環境・利用	河川に関する工事・作業時に従事者が空き缶、ポリをそのままにしているケースが多々見受けられる。	環境保全に対する意識向上が必要。	武雄河川事務所では、環境ISOを導入し、環境保全に対する意識向上に努めています。河川事業を推進する過程での措置や河川管理行為に対する措置において、継続的に地球環境と河川環境への負荷の回避・低減を図っていくことから、計画案「p98 4.1.4河川整備の実施に関する基本的な考え方」、「p146 4.3.3(5)河川管理者としての総合的な取り組み」に記載しています。	P 9 8 P 1 4 6

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
39	連携・協働	<p>川の水は、上流の森林によって支えられている。下流に住む人に対する認識の向上と下流に住む人が何か支援する仕組みが出来ないか。</p> <p>松浦川水系の河川整備計画も年々出来上がってまいりました。半田川、宇木川もその一部とっていますが半田川まつり等川を愛する地区です。整備の方もよろしく。</p>	流域全体を視野に入れた川づくりを行ってほしい。	治水・利水・環境全ての分野において、河川単独での取り組みではなく、流域として捉えた中での河川の位置づけ、役割を再認識しつつ流域一体となった取り組みが必要であり、地域の防災力の向上、河川の水質改善等、様々な取り組みにあたって、従来の河川行政の枠組みを超え、関係行政機関、県、市及び地域住民、住民団体等の多様な主体が連携、さらには協働出来るよう取り組むこととしております。流域全体を視野に入れた取り組みを実施するにあたっては、PDCAサイクルの手法を用いて、これまで実施してきた取り組みを適切に評価、改善する旨、計画案「p147 5.人と人とのつながりで築く松浦川」を追加記載しました。	P147
40	連携・協働	堤防の草刈りはありがたいが、国管理と県管理の境界刈り残しは何故？	水系一貫の河川管理をしてほしい。		
41	連携・協働	<p>堤防をまちづくりの視点でとか、利活用など地元が盛り上がってきたところでのどのような手順で行っていけばよいのか。</p> <p>河川環境や利活用整備は地元意見を尊重し整備を進めてほしい。</p>	河川改修や環境・利活用整備は、地元意見を尊重して整備を進めてほしい。	松浦川を良好な状態で後生に引き継ぐため、関係機関、佐賀県、関係市はもとより、広く地域住民、市民団体等の多様な主体が連携、さらには協働できるよう取り組むこととし、人と川の交流の場の保全・再生を図るとともに佐賀水ネットの連携強化や新たな情報ネットワークを形成するなど、流域連携の向上を支援する旨、追加記載しました。また、流域連携が向上されるよう、情報共有、防災学習、環境教育等の充実を図るとともに河川愛護の啓発活動等の実施により、住民との協働による松浦川づくりを推進する旨、計画案「p148-149 5.1関係機関、地域住民との連携・協働」に追加記載しました。	P148- P149
42	連携・協働	<p>行政のみに頼るだけでなく、住民の意識改革（甘えの心）が必要である。住民が自ら解決する力が殆どない現状を憂えています。</p> <p>協力出来るとうれしいです。</p>	住民・行政が協働して川づくりを考えるべき。		
43	連携・協働	毎年小学校の依頼により、蛍の観察と生育についての指導、また上学年では川の水の検査（生物学的なベック津田法）で学習させています。川の中の宝は小さな虫（石の裏など）の観察です。	将来の地域を担う子どもたちへの環境学習が必要	今後の川づくりを進める上で、川遊びや水生生物調査、イベント、環境学習などの自然体験活動等の機会を提供し、地域の将来を担う子供達への環境学習を積極的に支援します。また、自然体験活動等の指導者育成・発掘に関しても、積極的に取り組みます。計画案「p150 5.2地域の将来を担う人材の育成・発掘」に記載しています。	P150

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
44	連携・協働	事務所のPRのやり方は？	川のアピールをうまくわかりやすくしてほしい。また、わかりやすい情報を提供して欲しい。	住民の関心を高める取り組みとして、川に一番身な存在である地域の声に耳を傾け、知識を吸収し、適切に計画に反映・実践していくことが必要であると考えています。このことは長期的な視点から見ても、地域による河川管理につながることもなると考えます。 松浦川中流部で現在も継続中の「アザメの瀬」では徹底した住民参加による地域との対話をはじめ、合意形成に至るまでのプロセスを大切にしながら川づくりを展開中です。 今後の川づくりにおいても、アザメの瀬での取り組みを模範としながら、川づくりを進めていくこととしており、その旨、計画案「p151-152 5.3地域住民の関心を高めるための取り組み」に追加記載しました。 また、松浦川の特長、風土、文化を踏まえ、「松浦川らしさ」を活かした河川整備を進めるため、ホームページ・広報誌やラジオ、テレビ、新聞などのメディアを利用して広く情報提供し、住民との合意形成に向けた情報の共有化、意見交換会の場づくりなど、関係機関や地域住民との双方向コミュニケーションを推進していきます。	P151- P152
		きれいで安全な川を守るために、個人レベルでもできることを具体的に皆が考え、実行できるよう、公共機関を通じてアピールして頂きたいと思います。			
		馬ノ頭伏せ越しの歴史的遺産をもっとアピールしてほしい。			
		昨年より佐里地区内にホテルが多く舞う様になりました。			
		子供や老人のみんなが読みやすいように、漢字を少なくする。又、読みふりがなをつける。専門用語が多すぎて判りづらいと思う。頁数は少なくてもいいと思う。			
		この計画が実現することによって、何がどのように良くなるのか、その将来像を分かり易く（視覚的）表現してもらえると、より理解が深まるように感じます。			
		上記のアンケートをやっていたら、何を書きたいのか忘れてしまいました。もっと自由に！白いキャンパスに絵を画く様なアンケートをたのみます。			
		アザメの瀬に行ったことがないので、行ってみたい。ホームページも楽しみにしています。			
		松浦川（旧河川）駒鳴の将来の方向付けが出来ましたら知らせしてほしいと思います。			
45	連携・協働	防災するにしても人が川を大事に思えるような物にしたほうがいい。	川を大切に思えるようにしてほしい。		
		情報発信、歴史・文化関係、明治・大正・昭和生活用品の保存、平成充分伝える我々の生を大切に			

番号	分類	意見	意見要約	対応	本文記載
46	連携・協働	イベントを数多くしてほしい。 川魚の放流計画をして実施して下さい。	イベントをしてほしい。	住民の関心を高める取り組みとして、川に一番身な存在である地域の声に耳を傾け、知識を吸収し、適切に計画に反映・実践していくことが必要であると考えています。このことは長期的な視点から見ても、地域による河川管理につながることもなると考えます。	P151- P152
47	連携・協働	今から17年前ぐらいに全部農地になった場所(上場?)に土地があり、松浦川の水を引き込んで農地として利用していたが、現在は農地として利用していない。その水を利用したいのだが、飲料水として利用できるのか?松浦川の水の質が全国の川の質に比べてどの程度の質なのか。 徳須恵川の堤防拡幅、整備に伴う計画で石志地区の農業用水の給水施設の移転の計画年の開示をして欲しい 私は昭和23年9月発生した大水害の時松浦川橋梁(鉄道)を担当した者です。当時の状況がどうであった、その後の対策はどうか 平野川の水門の工事はいつになるのか。 石坂橋まで堤防を繋いで欲しい。	松浦川の水量や水質、施設、工事計画等の情報を提供してほしい。	松浦川中流部で現在も継続中の「アザメの瀬」では徹底した住民参加による地域との対話をはじめ、合意形成に至るまでのプロセスを大切にしたい川づくりを展開中です。今後の川づくりにおいても、アザメの瀬での取り組みを模範としながら、川づくりを進めていくこととしており、その旨、計画案「p151-152 5.3地域住民の関心を高めるための取り組み」に追加記載しました。また、松浦川の特長、風土、文化を踏まえ、「松浦川らしさ」を活かした河川整備を進めるため、ホームページ・広報誌やラジオ、テレビ、新聞などのメディアを利用して広く情報提供し、住民との合意形成に向けた情報の共有化、意見交換会の場づくりなど、関係機関や地域住民との双方向コミュニケーションを推進していきます。	